

〔成果情報名〕長崎県における大豆有望品種「ちくしB5号」および「そらみのり」の栽培特性

〔要約〕「フクユタカ」と比較して、「ちくしB5号」は成熟期が3日早く、多収である。「そらみのり」は成熟期が5日遅い。主茎長が長く、多収だが、やや小粒傾向である。

〔キーワード〕大豆、ちくしB5号、そらみのり

〔担当〕長崎県農林技術開発センター・農産園芸研究部門・作物研究室

〔連絡先〕（代表）0957-26-3330（直通）0957-26-4350

〔区分〕農産

〔分類〕普及

〔作成年度〕2024年度

〔背景・ねらい〕

九州では40年以上「フクユタカ」の作付が続いているが、九州全体で収量が低下している。実需からはより安定した生産量を確保できる品種が求められており、各県で品種の転換を進めている。本県では、奨励品種決定調査で「ちくしB5号」を2019年から、「そらみのり」を2021年から供試し、それぞれ現地試験も実施している。

今後、現地試験を拡大し、奨励品種への採用を検討するため品種の特性を明らかにする。

〔成果の内容・特徴〕

「ちくしB5号」（フクユタカ/福交002・F2（フクユタカ/タチナガハ）：福岡県農林業総合試験場）と「そらみのり」（九州148号/Santee：農研機構九州沖縄農業研究センター）は「フクユタカ」と比較してそれぞれ次のような特性を有する。

1. 「ちくしB5号」は、成熟期が3日早い（表1）。主茎長がやや短く、倒伏しにくい（表1）。最下着莢節位高は同等（表1）。12%多収で、百粒重がやや重い（表2、写真1）。
2. 「そらみのり」は、成熟期が5日遅い（表1）。主茎長が長く、主茎節数と株あたりの分枝数が多い（表1）。最下着莢節位高は1.0cm程度高い（表1）。22%多収で、株あたりの莢数が多く、中粒割合が高い（表2、写真1）。

〔成果の活用面・留意点〕

1. 本情報は、長崎県農林技術開発センター所内畑（植壤土）で得られた成果である。
2. 本情報は、「ちくしB5号」および「そらみのり」の現地試験に資する。
3. 裂莢性は「ちくしB5号」が「フクユタカ」と同じ”中”、「そらみのり」は”難”である（育成地情報）。「ちくしB5号」では収穫適期を逃さないよう注意する。
4. 「そらみのり」は6月播種（早播）すると、生育過剰になり過繁茂、倒伏の可能性が高まるため、摘芯処理と組み合わせる等の検討が必要である（データ略）。

〔耕種概要〕

	試験年度	播種期 (月/日)	条間 (cm)	株間 (cm)
場内	2021	7/6	70	20
	2022	7/11	70	20
	2023	7/14	70	20
	2024	7/8	70	20
現地	2023	7/21	70	20
	2024	7/8	70	13

[具体的データ]

表 1 栽培特性

品種名		開花期	成熟期	主茎長	主茎節数	分枝数	最下着莢 節位高	生育中の障害 ³⁾	
		(月/日)	(月/日)	(cm)		(本/株)	(cm)	倒伏	青立
場内 ¹⁾	ちくしB 5号	8/23	11/3	58.0	12.3	3.1	10.2	0.8	0.3
	そらみのり	8/23	11/11	69.0	13.9	3.7	11.3	1.1	0.3
	フクユタカ(標)	8/23	11/6	62.3	12.6	3.2	10.2	1.0	0.6
現地 ²⁾	ちくしB 5号	8/26	11/2	51.0	12.2	2.9	10.6	1.0	0.0
	(諫早市) フクユタカ(標)	8/27	11/4	49.0	12.9	3.5	11.4	1.0	0.0

- 1) 2021～2024 年の 4 か年平均値。
 2) 2023～2024 年の 2 か年平均値。諫早市内の水田で得られた成果。
 3) 倒伏、青立：0（無）、1（微）、2（少）、3（中）、4（多）、5（甚）で判定。

表 2 収量特性

品種名	子実重 (kg/ a)	標準対比 (%)	莢数 (莢/株)	百粒重 (g)	粒度分布 (%)			等級 ³⁾	
					小粒	中粒	大粒		
場内 ¹⁾	ちくしB 5号	39.7	112	156.8	29.5	13.7	35.9	50.4	3.7
	そらみのり	43.4	122	170.9	26.3	22.4	58.0	19.5	4.2
	フクユタカ(標)	35.5	—	145.0	28.2	15.7	42.2	42.2	4.0
現地 ²⁾	ちくしB 5号	32.1	115	133.9	28.0	15.1	39.8	45.2	4.0
	(諫早市) フクユタカ(標)	27.8	—	136.9	27.3	17.1	44.3	38.6	4.4

- 1) 2021～2024 年の 4 か年平均値
 2) 2023～2024 年の 2 か年平均値。諫早市内の水田で得られた成果。
 3) 検査等級：1（1 等上）～9（3 等下）



写真 1 「ちくしB5号」「そらみのり」「フクユタカ」の子実外観（2024 年産 7 月播種）
 左：「ちくしB5号」 中央：「そらみのり」 右：「フクユタカ」 各 150 粒

[その他]

研究課題名：稲・麦・大豆奨励品種決定調査
 予算区分：県単（継続研究）
 研究期間：2021～2024 年度
 研究担当者：林万智子、松葉一樹